

参加者氏名 古島 聡
1988年 数学物理学科(物理)卒業
宮城県コース参加

東北応援ツアーの企画コンセプトとして、バスのなかで説明されていたように、観光客として訪問して、被災地の活性化に貢献する。お金を落とすために行くべきと思っていましたが、なかなか東北の地に足を運ばずにいました。放射性物質の放出の止まらない福島原発の影響、いたるところにあるホットスポットの問題も、子供を連れて観光に行くということから遠ざけていました。

背中を押してくれないと、という弱い自分は、東北応援ツアーに応募して3回目で宮城県コースに行くことができました。

やっと行くのだからと、木曜日の夜に仙台入りして、レンタカーで海岸線をめぐることになりました。釜石から、仙台まで45号線を南下、奇跡の一本松をこの目に収めてきました。

海に近いところは、いたるところ盛り土工事、5m以上の高さの土の台ができていました。

土の台だけ、まだ上に建物も動くものもありません。巨大な台形の土の山が、ポツンポツンと、そこにありました。

海側へ向かう道は、関係者以外立ち入り禁止ばかり、三陸鉄道、JR線の鉄橋は津波でグニャリと曲がったままのところも残ったままでした。

東北応援ツアーで女川を視察、巨大な津波に襲われたという話は聞いていたが、自分自身が現場に立って、あの丘の上の学校の1階天井まで津波が襲ったことを見て、津波の巨大さ、信じがたい波の高さに恐怖と絶望感で震えました。

女川駅前だけをみると、新しいきれいな駅舎、工事中の駅前商店街が復興を感じさせてくれます。でも、10mもの盛り土の上に住居を建てる決定で、土木工事は進めているが、いつ家が建てられるのか。その時に町を形成できるだけの人がいるのだろうか？とまだまだ、年単位での時間がかかる現場に私でも不安を感じました。

石巻の海岸から1kmほどのなにも無い空虚な空き地、閑上の見晴らしがきく雑草の生えた地面など、復興工事がまだ始まっていないところがまだまだ多いことに驚いた。

上野ー仙台間は最速で1時間半、そこを東北の玄関に、たくさんの温泉、日本三景の松島、世界遺産の岩手平泉など観光すべきものも多く、寿司、牛タンだけでなく、美味しい食べ物も多いので、ぜひ遊びに行きましょう。

私も今度は、家族で訪れたいと思います。たくさんの人が移動し、そこで楽しくお金を使うことが、住む人も来る人も元気になっていく、それが復興につながると思うので、遊びに行きたいです。